

# すくすく SUKU SUKU PLAZA

## 児童館だより 4月1日～5月10日



★各児童館共通 開館時間 9:30～18:00 休館日 日曜日・祝日

	さくら児童館 ☎65-6191	白鳥児童館 ☎66-1036	栄南児童館 ☎68-6266	弥生児童館 ☎65-8107	大藤児童館 ☎68-4101	東部児童館 ☎52-4611
伝承遊びを楽しもう (小学生対象)	4月16日(木) 16:00～		4月22日(水) 16:00～		4月8日(水) 16:00～	
卓球をしよう (小学生対象)	4月18日(土) 14:00～16:00	4月25日(土) 14:00～16:00		4月11日(土) 14:00～16:00	4月18日(土) 14:00～16:00	4月18日(土) 14:00～16:00
将棋をしよう (小学生対象)				4月15日(水) 16:00～		
★新1年生を迎える会 (小学生対象)	4月11日(土) 10:30～ 定員30名	4月11日(土) 10:30～ 定員20名	4月11日(土) 14:00～ 定員20名	4月11日(土) 10:30～ 定員30名	4月11日(土) 10:30～ 定員20名	4月11日(土) 14:00～ 定員20名
じどうかんであそぼう (1歳以上～未就園児対象)	予定しておりました4月の「じどうかんであそぼう」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とさせていただきます。					
毎週水曜日 10:30～11:00	※4月から「親子教室」が「じどうかんであそぼう」に変わります。1歳以上～未就園児の親子さん(市内在住)ならどなたでも、どの児童館でも参加できます。お母さんだけでなく、お父さん・おじいちゃん・おばあちゃんも大歓迎です。					

※お話しタイムはさくら・大藤(月曜日)、白鳥・栄南・弥生・東部(木曜日)10:30～16:00～に行います。

※定員がある行事で、市外の方が参加を希望される場合は、各児童館にお問い合わせください。

※★マークのある行事は申し込みが必要です。

## 子育て支援センター “みんなで子育て” 応援します!



子育てに困っていること、悩んでいることありませんか? 子育ての喜びや悩みを分かち合い、一緒に子育てしましょう!

★各支援センター共通 開館時間 8:30～17:15 休館日 土・日曜日、祝日

ひので子育て支援センター ☎66-0008	弥生子育て支援センター ☎65-8211	東部子育て支援センター ☎52-4612	相談日 月～金曜日	行事
			電話相談 9:00～16:30 面接相談 13:00～16:30 訪問相談 13:00～15:30(要予約) 臨床心理士の個別相談(要予約)	なかよしひろば、あおぞらひろば、年齢にあわせて、わくわくベビー、キッズ、チャイルド、フレンズ、マタニティーを行っています。 ※「わくわくだより」・ホームページを通して情報と日程をお知らせします。

※詳しくは、各子育て支援センターにお問い合わせください。

## ファミリー・サポート・センター

利用会員と協会員が  
助け合う組織です

受付 月～土曜日 / 9:30～17:45 (土曜日は電話受付のみ) 休業日 日曜日・祝日

「基本事業」、「病児・病後児保育事業」の利用は、事前に会員登録が必要です。

事務所で平日9:30～17:45まで登録受付をしています。登録時に利用方法などの説明をします。

利用会員入会出張所 4月23日(木)14:00～14:30受付 ところ/保健センター 1階 ロビー 持ち物/印鑑・母子手帳

基本事業 保育所の送迎、保護者外出時の預かりなど 曜日や時間、援助内容に合う協会員が援助を行います。

病児・病後児保育事業 月～金 8:30～17:00 専用保育施設 キッズケアルーム「えがお」でお預かりします。(看護師常駐)

協会員募集中! ※詳しくは、ファミリー・サポート・センターへお問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター ☎52-0922



5歳児になると長いお話も楽しめるようになってきます。

毎週絵本の貸し出しをおこなっています。

この本おもしろそうだね



おはなし大好き!  
～絵本で広がる、子どもの笑顔～

保育所すべての部屋にある絵本コーナー。子どもたちは絵本立てからお気に入りの一冊を選ぶと「先生、この本読んで」と絵本を持ち集まってきました。保育所では子どもたち一人ひとりが絵本を通して人とかわりながら、言葉、想像力、思考力などさまざまなことを会得し、心豊かに育つことを大切に保育を進めています。

お母さんと離れて保育所で過ごす0・1・2歳児の子どもたち。泣いていた子も保育士の膝の上に座り絵本を読んでもらうことで笑顔が見られます。ゆったりとした雰囲気の中、背中から伝わる温かさ、声の響き、言葉のリズムなど幼い子どもたちにとって最も心が安定し、心地よい場になります。

3・4歳児は興味を持った絵本を繰り返し読み「ネコちゃんだよ。にゃおーん」「私はそば屋さんになる」とおはなしの中の人や動物になりきり、友達と言葉や動きを楽しみます。子どもたちは、保育士に読んでもらうおはなしや昔話からイメージを広げ、さらにごっこ遊びや劇遊びに発展していきます。



治してあげましょうにやにやにやにやにや

子どもたちの好きなおはなしでごっこあそび。そして、劇遊びを楽しみました。

月に一度、読み聞かせの先生が来てくれます。子どもたちも次はどんな絵本が楽しみにしています。



また、5歳児は文字への興味が高まり、自分で文字を追いつながりながら読む姿も見られ、友達と一緒に絵本を見たり読んだりしています。保育士が読む長いおはなしも見て、聞いて展開にわくわくしている子どもたち。イメージを膨らませ楽しめるのも5歳児ならではの姿です。

子どもたちにとって絵本は心を育てる基礎となります。保育所では、絵本はおはなしを楽しむだけでなく、絵本から豊かな感性を培ったり、表現する楽しさへと発展させ、遊びだす子どもたちの育ちを大切にしていきたいです。



ねえねえ こんなかおできる? はあ～!

おむすびころりん すっどん

ねずみだ～!!